

衆議院経済産業委員会ニュース

平成 27. 7. 31 第 189 回国会第 29 号

7 月 31 日（金）、第 29 回の委員会が開かれました。

1 外国為替及び外国貿易法第十条第二項の規定に基づき、北朝鮮を仕向地とする貨物の輸出及び北朝鮮を原産地又は船積地域とする貨物の輸入につき承認義務を課する等の措置を講じたことについて承認を求めるの件（内閣提出、承認第 4 号）

- ・ 宮沢経済産業大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・ 採決を行った結果、全会一致をもって承認すべきものと決しました。
（賛成—自民、民主、維新、公明、共産、野間健君（無））

（質疑者及び主な質疑内容）

渡 辺 周君（民主）

- ・ 本年 8 月に予定されている日本人遺族の墓参訪朝は、昨年 5 月にストックホルムで行われた日朝政府間協議における合意の一環として行われるのか。
- ・ 終戦前後に北朝鮮で埋葬された日本人の遺骨が北朝鮮から返還された場合に、日本政府が見返りとして金銭等を北朝鮮に提供することはあり得るか。

藤 野 保 史君（共産）

- ・ 本年 7 月 14 日の欧米等 6 か国とイランの核問題に関する最終合意（包括的共同作業計画）に対する宮沢経済産業大臣の認識を伺いたい。
- ・ 2011 年に石破茂自由民主党政務調査会長（当時）は、核の潜在的抑止力を維持するために原発は廃止すべきでない旨発言したが、この発言に対する宮沢経済産業大臣の見解を伺いたい。